

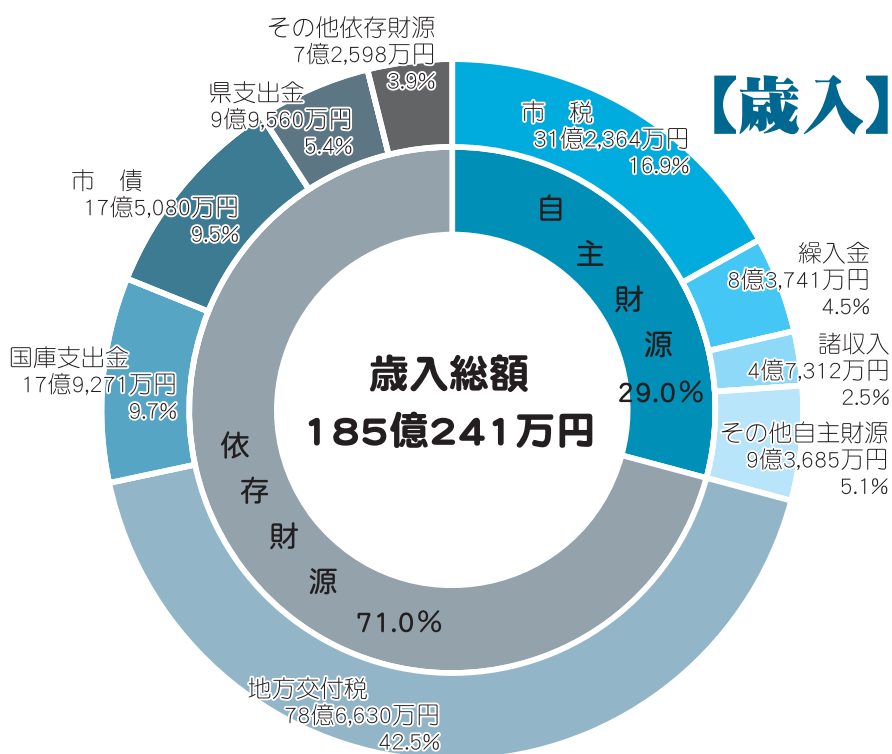
## 市の誕生後では 最も大きな予算規模

20年度の一般会計の収入は、185億241万円で、前年度より9億8884万円多く、合併してから最も多い額となりました。これは、地方交付税の2億5818万円増、国庫支出金の2億8291万円増、市債の4億3900万円増などによるものですが、これらは依存財源のため、財政の自主性・安定性を示す「自主財源比率」は前年度より1.7ポイント低下し、29.0%となりました。なお、国庫支出金が増えた主な要因は、定額給付金事業費、国庫補助金4億8686万円が挙げられます。収入の中で最も多かったの

は、前年度と同じ地方交付税の78億6630万円で、収入全体の42.5%を占め、市民1人当たりでは約26万円になります。次に多かったのは市税の31億2364万円で、全体の16.9%を占めています。前年度より6103万円減りました。次いで国庫支出金の17億9271万円、9.7%、市債の17億5080万円、9.5%

どが続きます。市債は前年度よりも4億3900万円増えました。これは、合併市町村振興基金造成事業（合併特例債を使った基金の積み立て）2億8500万円、繰上償還借換債（利率の高いものから低いものへの借り換え）1億370万円、繰越事業の3億2670万円などにより、増えたものです。

## 【歳入】



20年度決算が市議会で認定  
一般会計で約6億6千万円の黒字

# 市財政の健全化へ 着実な歩みを進める

市の20年度決算が、市議会第3回定例会（8月28日から9月10日まで）で認定されました。20年度一般会計の当初予算は156億8,200万円でしたが、6回の補正を行い25億1,191万円を追加。最終予算額は181億9,391万円でした。一般会計の収入から支出を差し引いた額は12億2,038万円ですが、うち5億5,339万円は繰越事業の財源で、残り6億6,699万円が実質黒字額です。ここでは、市の決算状況のあらましについてお知らせします。（金額は1万円未満を四捨五入）

## 財政用語の 基礎的知識

▷**標準財政規模** 普通交付税の額を計算するときに出てくる数字で、地方公共団体が収入できると考えられる経常一般財源の大きさ(市税や国からの交付金、譲与税、普通地方交付税などの総額)を示すものです。地方公共団体が通常水準の行政サービスを提供する上で必要なお金の目安となる数値で、いろいろな財政指標を計算するときの分母となることが多い数字です。20年度の八幡平市の標準財政規模は、116億5,205万円です。

▷**普通交付税** 地方交付税は、国が集めた所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合を地方公共団体に配分するもので、普通交付税と特別交付税があります。普通交付税は財政力の弱い地方公共団体に配分するもので、財政力の弱い地方公共団体の収入の中では最も大きな位置を占めている必要不可欠なものです。また、特別交付税は災害や合併など特別の事情がある場合、その状況に応じて交付されます。

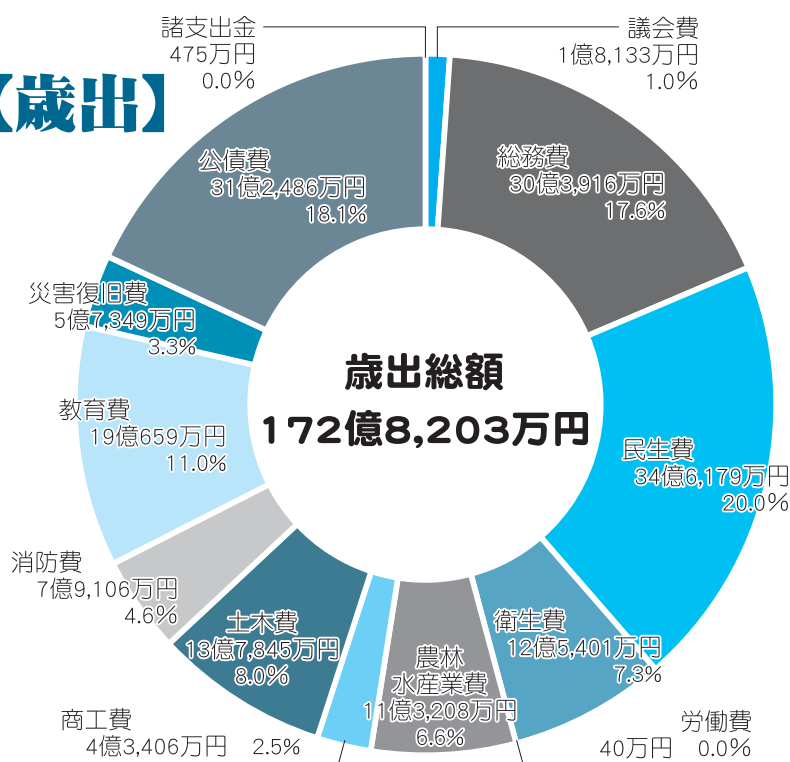
▷**地方債** 地方公共団体が資金調達のために負担する債務(借金)で、その返済が複数年度にわたって行われるもの。借りられる中身は決まってい、単純に収入が不足する(お金が足りない)から借りるというわけではありません。その多くが、元利償還額の一部(例えば臨時財政対策債は全額、刃地債は80%、過疎債や合併特例債は70%)に普通交付税が交付されます。

▷**元利償還金** 地方債返済の元金と利子の支払額。20年度の一般会計の償還額のうち、元金は27億6,669万円、利子は3億5,811万円でした。

### 健全経営の徹底で 財政状況の改善続く

20年度の一般会計の支出は、172億8,203万円で、前年度より3億2,913万円増え、収入と同じく合併してから最も多い額となりました。最も多かったのは民生費の34億6,179万円で、前年度より1億4,305万円増えま

### 【歳出】



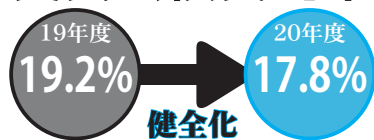
した。2番目に多かったのは公債費の31億2,486万円で、前年度より5,991万円増えました。これは、利率の高い資金の1億9,801万円を繰上償還のうち、1億3,70万円を低利のものに借り換えしたためで、実質的には前年度よりも減り、市債償還の山場を越えました。3番目に多かったのは総務費の30億3,916

万円で、前年度より2億7,911万円増えました。これは、合併市町村振興基金の積み立て3億円などにより増えたものです。総務費では、ほかに財政調整基金4億5,398万円、庁舎整備基金2億1,877万円、農と輝の大地基金1億2,059万円、なども積み立てましたので、取り崩し分を差し引いた20年度末の一般会計の基金残高は、前年度よりも4億5,672万円増えました。

今後は地方交付税が削減され、市の財政状況も厳しさを増していくことが予想されます。市は、経費の節約や事務事業の見直しをさらに進め、限られた財源を効率よく活用して、より一層の健全経営に取り組めます。



## 実質公債費比率



行革の効果で、  
目標よりも早く  
18割未満に

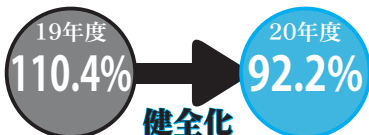
標準財政規模（20年度の市の標準財政規模は116億5205万円）に対する地方債の元利償還金などの割合の3年平均の数値を実質公債費比率といいます。

市の21年度の実質公債費比率（18年度）の各年度の決算における実質公債費比率の平均）は、20年度の19・2割から大きく改善し、17・8割となりました。19年度に策定した公債費負担適正化計画に基づいて、行財政改革の推進や新規地方債の発行の抑制など、実質公債費比率を改善する取り組みを行ってきた結果、地方債の発行に県知事の許可が必要となる基準である18割を見込みよりも2年早く下回りました。

市は、合併したことによって国から地方交付税の優遇措置を受けていますが、これは合併から15年で終わります。

この優遇措置がなくなると、普通交付税が大幅に減ることが見込まれます。このため、早期に安定的な財政基盤を確立しなければならず、今後も職員削減や経常経費節減などの行財政改革をさらに推し進めていきます。

## 将来負担比率



借入金返済の  
山場を過ぎ、  
県内屈指の水準

将来負担比率は、標準財政規模（普通交付税に算入された公債費などの額を除く）に対する市の借入金残高などの将来的な実質財政負担の合計額（普通交付税に算入される見込の額などを除く）の割合

を示すものです。この指標は、その時点での自治体の財政規模に対して、将来見込まれる負担が過大なものとなっていないか判断する目安となるものです。

20年度末の市の将来負担額

●表1 市債・企業債残高の推移

| 年度 | 一般会計         | その他会計        | 合計           |
|----|--------------|--------------|--------------|
| 15 | 238億 482万円   | 127億 1,202万円 | 365億 1,684万円 |
| 16 | 228億 1,198万円 | 135億 2,277万円 | 363億 3,475万円 |
| 17 | 216億 7,881万円 | 145億 1,619万円 | 361億 9,500万円 |
| 18 | 207億 394万円   | 149億 2,918万円 | 356億 3,312万円 |
| 19 | 193億 5,750万円 | 151億 93万円    | 344億 5,843万円 |
| 20 | 183億 4,161万円 | 154億 7,096万円 | 338億 1,257万円 |

●表2 県内13市の将来負担比率

|       | 20年度   | 前年度比   |
|-------|--------|--------|
| 八幡平市  | 92.2%  | -18.2% |
| 遠野市   | 99.1%  | -26.1% |
| 釜石市   | 141.2% | -10.6% |
| 二戸市   | 141.2% | -2.1%  |
| 盛岡市   | 143.1% | -6.3%  |
| 大船渡市  | 158.9% | -11.3% |
| 宮古市   | 159.9% | +2.4%  |
| 一関市   | 167.6% | -12.0% |
| 花巻市   | 167.9% | -23.2% |
| 陸前高田市 | 186.0% | -24.6% |
| 奥州市   | 197.2% | -9.2%  |
| 久慈市   | 201.1% | -4.7%  |
| 北上市   | 206.2% | -11.0% |
| 県内平均  | 128.7% | -16.1% |

は、市債残高の約183億円、特別会計や企業会計に係る地方債の元利償還のために一般会計から繰り出す見込みの額の約103億円、退職手当支給のために一般会計で負担しなければならぬ見込の額の約36億円などです。これから普通交付税に算入される見込みの額の約201億円や充当可能な基金の額の約38億円などを差し引いた、市の実質的に将来負担する額は約88億円。将来負担比率は92・2割でした。

市の自主財源は、20年度決算で約53億7千万円あり、これと比較しても実質的な将来負担額の約88億円は決して過大なものではありません。借入金の返済の一部に普通交付税が受けられる有利な制度を

多く利用していることから、借入金の残高と比較して将来負担比率は低い水準に抑えられています。表2に示したとおり、県内の市で最も健全な水準となっています。

20年度末の借入金残高は、一番多かった15年度よりも約27億円減りましたが、特に財政の健全化に努めてきた合併以後に多く減ってきたことが表1から分ります。

総体では減っているものの、一般会計以外の会計では借入金残高が増加しています。これは下水道の整備を進めていることによるものですが、今後必要な社会基盤の整備を進めながら、将来の負担をできるだけ大きくしないよう、引き続き健全な経営を進めていきます。



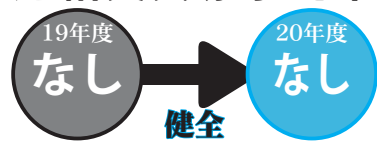
●表3 20年度特別会計・企業会計の決算状況

| 会 計 名          |       | 収入額        | 支出額        |
|----------------|-------|------------|------------|
| 国民健康保険(事業勘定)   |       | 35億2,654万円 | 34億5,633万円 |
| 老人保健           |       | 3億3,771万円  | 3億2,869万円  |
| 公共下水道事業        |       | 10億9,321万円 | 10億3,736万円 |
| 農業集落排水事業       |       | 13億 457万円  | 12億8,988万円 |
| 浄化槽事業          |       | 4,300万円    | 3,784万円    |
| 国民健康保険(診療施設勘定) |       | 3億 490万円   | 2億8,571万円  |
| 索道事業           |       | 4,321万円    | 4,321万円    |
| 後期高齢者医療        |       | 2億 979万円   | 2億 828万円   |
| 水道事業           | 収益的収支 | 5億1,100万円  | 4億8,742万円  |
|                | 資本的収支 | 1億4,424万円  | 4億7,730万円  |
| 西根病院事業         | 収益的収支 | 7億 88万円    | 6億9,546万円  |
|                | 資本的収支 | 2,760万円    | 3,624万円    |

全ての会計の実質的な赤字の額(一般会計と特別会計の実質赤字額と企業会計の資金不足額との合計額)の標準財政規模に対する割合を連結実

質赤字比率といいます。八幡平市には、実質赤字の会計も資金不足の会計もありませんので、連結実質赤字比率ありません。

## 連結実質赤字比率



全ての会計を連結しても、赤字はゼロです

# 市財政の健全性を示す指標が前年度よりも改善

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)に基づき、全国の地方公共団体は、それぞれの財政に関する5つの指標を公表しています。20年度決算から算出される市財政の指標は、全てが健全であることを示しています。

公営企業における資金不足比率は、その公営企業の事業規模に対して、資金不足の割合がどの程度あるかを示すものです。市の公営企業(公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽事業、索道事業、西根病院事業、水道事業)には資金不足の会計がありませんので、資金不足比率もありません。

市の財政状況を表す5つの指標は、実質公債費比率がやや高いものの、来年度以降も下がる見込みで、他の指標は全く問題ありません。市の財政は健全に経営されていますので、心配はありません。詳しくは、市企画総務部財政課(☎76-2111、内線1233)まで。

## 資金不足比率



公営企業にも資金不足はなく、健全です

実質赤字比率は、一般会計の実質的な赤字の額が標準財政規模に対してどれだけあるかを示した割合です。市の20年度一般会計決算は、

支出を収入が上回り、繰越事業の財源を差し引いた6億699万円の実質黒字を計上していますので、実質赤字比率はありません。

## 実質赤字比率



20年度決算では、約6億円の黒字があります

# 市内で新規就農を目指す皆さんを支援する

## 市新規就農者等支援事業スタート

市は、市内での新規就農を目指す人などを支援する「八幡平市新規就農者等支援事業」を次のとおり実施します。

### 支援の対象者

対象となるのは、次の①～③に該当する人です。

① 独身者は、おおむね30歳以下、既婚者は、概ね45歳以下の

人  
② 新規就農体験者研修事業以外、就農するとき（研修を始めるとき）に市内に住所がある人

③ 新規就農者支援事業および後継者就農研修支援事業については、提出した実施計画書を市長が認定し、市内に就農することが確実である人

### 支援の内容

▽受け入れ人数など

受け入れ人数は、若干名とします。各支援事業の認定に当たり、市新規就農支援チームによる書類審査および面接

を行います。

▽栽培作物 市が指定する重点推進作物の「ホウレンソウ」または「リンドウ」の中から選定し栽培することになります。  
▽募集期間 12月28日まで

▽支援内容

① 新規就農者支援金 1事業業者について、市内の研修受け入れ農家での研修期間を含む3年間に、その生活費を別表のとおり支援します。  
※1年間を限度とする研修を受けることが必要です。

② 後継者就農研修支援金 1事業業者について、自家以外の市内の研修受け入れ農家で研修（1年間を限度とする）を行う期間について、その生活費を別表のとおり支援します。

③ 新規就農体験者研修支援金  
①、②以外で、市外から市内の研修受け入れ農家で研修を行う場合に、その旅費または家賃を支援します。

。旅費は、研修1回につき、1日あたり37円を支給します。  
。家賃は、市内に借家住まいする場合に、月額2万円を上

限として、家賃の2分の1を支給します。

④ 研修受け入れ農家支援金  
①～③の研修を受け入れる農家に、月額5万円を限度に支援します。

いずれの研修も開始は、22年4月以降からとなります。

各支援事業は、社団法人岩手県農業公社などと連携し実施します。なお、同公社などから同じ内容の支援を受ける場合は、市からの支援を減額する場合があります。

詳しくは、市農業振興支援センター（☎7612111、内線1600）まで

【別表：支援金の支給内容】

| 区分  | 単位             | 金額      |
|-----|----------------|---------|
| 基本額 | 独身者            | 月額 10万円 |
|     | 夫婦             | 月額 13万円 |
| 加算額 | 配偶者を除く扶養者1人に付き | 月額 2万円  |

※家賃の助成については、支援③と同じ

## 各種スキー大会の競技役員を募集します

市スキー大会実行委員会からののお知らせです

市スキー大会実行委員会では、本年度市内で開催する各種スキー大会の競技役員を次のとおり募集します。

■応募条件 スキー滑走が可能で、自分で大会会場まで出勤できること。

■日当 1日3,000円を支給します。

■旅費 市旅費条例に準じ、1日あたり37円を支給します。（自宅から会場まで4km以上の方が対象です）

■昼食 主催者で弁当を準備します。

■保険 主催者でボランティア保険に加入します。

■応募期限 10月26日（月）まで

※定員になり次第、募集を締め切ります。

■会場 クロスカントリー競技：田山グラウンド、アルペン競技：安比高原スキー場、ジャンプ競技・

バイアスロン競技：田山スキー場、松尾八幡平アルペンスキー大会：下倉スキー場

■開催される大会（開催期間）

▷全日本田山クロスカントリー大会（22年1月8日～10日）

▷県中学校・高校スキー大会（22年1月15日～18日）

▷県民スキー大会（22年1月22日～25日）

▷東日本バイアスロン競技大会（22年1月29日～31日）

▷全国中学校スキー大会（22年2月3日～6日）

▷松尾八幡平アルペンスキー大会（22年3月6日～7日）

詳しくは、市スキー大会実行委員会（☎74-2111、内線2333、2334）まで。



## アルパに魅了されて

講話と演奏会を開催します

市芸術文化協会では、南米の民俗音楽に欠かせない弦楽器「アルパ」の演奏と楽器にまつわる講話を楽しむ「アルパに魅了されて」を次のとおり開催します。たくさんの皆さんの来場をお待ちしています。(入場無料)

■日時 11月17日(火)、午後1時半～

■場所 松尾ふれあい文化伝承館

■出演 ひらやまよりこ氏(松尾寄木在住)

詳しくは、西根地区市民センター(☎76-2111、内線1532)まで。

## 大切な仲間や命のこと 中学生が思いを発表

盛岡人権擁護委員協議会と市は、盛岡・岩手・紫波地区の中学生9人による「人権尊重に関する意見発表会」を次のとおり開催します。

中学生が「明るく楽しい学校づくり」に取り組み、特にいじめや不登校のない学校にするために、生徒自身がどのように考え、どう実践しているか、また地域などでのボランティア活動や高齢者との交流を通して学んだことなどを意見発表します。

■日時 10月28日(水)、午後1時50分～

■場所 松尾中学校体育館

詳しくは、市市民部市民課(☎76-2111、内線1135)まで。

## 岩手地区中学校新人大会 岩手地区中学校陸上競技大会

# 市内選手が大活躍

第57回岩手地区中学校陸上競技大会は8月28日、県営運動公園陸上競技場で、21年度岩手地区中学校新人大会は9月19・20の両日、各会場で行われ、市内の各中学校から多数の選手が出場し、活躍を見せました。主な成績は次のとおりです。(敬称略)

### 新 岩手地区中学校 人 大会

■ソフトテニス▽男子団体①西根③西根第一・安代◆男子個人①日戸祐介・武田圭介(西根)②松浦露輝・中村大夢(西根第二)③田村克樹・遠藤優貴(西根)・土屋佳貴・堀口知真(安代)▽女子団体②西根③西根第一・松尾◇女子個人①古川里緒奈・乙部理子(松尾)③小野寺ひとみ・遠藤葵(西根第二)

■バレーボール▽男子③西根▽女子②西根③松尾

■バスケットボール▽男子③西根第一▽女子②西根

■剣道▽男子団体③西根◆男子1年個人③沢尻将人(西根)

■柔道▽女子団体①西根第一◇女子個人44kg級②高橋裕佳(西根第一)◇女子個人48kg級②伊藤弘華(西根第二)◇女子個人52kg級①中村有紗(西根第一)◇女子個人70kg超級①遠藤真那美(西根第二)②田村仁美(西根第二)

■サッカー▽男子③西根・松尾

■卓球▽男子団体②安代◆男子個人③小笠原夢人(西根)▽女子団体③西根第一

■ソフトボール▽女子③松尾

■バドミントン▽女子団体③安代◇女子個人②畠山麻希(安代)

### 岩手地区中学校 陸上競技大会

■1000m◆男子2年①高橋新(西根)◇女子1年①山本恵理(安代)◇女子3年①佐々木未来(西根)

■2000m◇女子共通③山本恵理(安代)

■4000m◆男子共通①畠山好貴(安代)

■8000m◆男子共通③立柳光(松尾)

■15000m◆男子1年③渡辺大樹(西根)◇女子1年③土屋正恵(安代)

■30000m◆男子共通①安保玲(西根)

■4000mリレー▽男子低学年①西根(堀内大樹・高橋新・渡辺颯人・工藤大和)

■10000mハードル◇女子共通③金山惺世(西根)

■走り幅跳び◆男子共通③田村良(西根)◇女子共通②遠藤葵(西根第二)

■4種競技◆男子共通③佐藤歩(松尾)

■砲丸投げ◇女子共通③小林諭果(松尾)